



更新したシャー部分

藤澤鋼板

主力レベラーのシャー更新

ハイテン対応など品質安定策

藤澤鋼板（千葉県浦安市、藤澤鐵雄社長）はこのほど本社工場レベラーラインのシャー部分を更新した。投資額は設備更新や基礎部分の工事などを含め1億円ほど。10月下旬から営業運転を開始している。

今回の更新は加工における品質水準確保のためだ。同社は熱延鋼板扱い主体で、自動車向けのウエートが高くハイテン材の加工に力を入れている。そうした中でハイテン材の板厚6^ミ切断における品質安定性を保持するために更新に踏み切った。経年による劣化もあったこともきっかけだった。

自動車関連需要の下期増加でレベラーラインの稼働も増加が目立ってきているという。藤澤社長は「定期修理などで対応してきたが、設備にパワー不足な面もあり、無理をするとレベラーライン本体に影響が出るので更新した。久方ぶりにまとまった投資だが、あくまでもお客様に品質面でご迷惑をかけないために行うものだ」としている。